



2025年5月20日

各位

株式会社 C K サンエツ  
代表取締役社長 釣谷 宏行  
(コード番号 5757 東証プライム)  
問合せ先 取締役管理統括部長 松井 大輔  
TEL (0766) 28-0025

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応のアップデートについて

当社は、2024年5月13日に公表いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、現状の評価・分析や取り組みの進捗状況等を踏まえ、内容をアップデートしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状評価（連結ベース）

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
売上高 (百万円)	69,130	115,343	123,838	111,433	125,108
営業利益 (百万円)	5,392	10,771	8,279	7,929	10,263
経常利益 (百万円)	422	6,571	8,655	6,094	8,383
当期純利益※ (百万円)	174	4,313	5,318	3,815	5,207
1株当たり純資産額 (円)	4,255.95	4,649.01	5,240.76	5,663.62	6,137.67
1株当たり当期純利益金額 (円)	21.16	517.19	644.39	458.22	616.11
自己資本比率 (%)	53.3	54.2	57.5	61.5	60.1
ROE (%)	0.5	11.7	13.0	8.4	10.4
PER (倍)	197.07	7.39	6.75	8.67	6.18
株価 (3月末) (円)	4,170	3,820	4,350	3,975	3,810
PBR (倍)	0.98	0.82	0.83	0.70	0.62

※親会社株主に帰属する当期純利益

当社の2025年3月期におけるROEは10.4%と、4期連続で8%以上となっております。一方で、PBRは2025年3月末時点で0.62倍となっております。この要因として、以下の項目が挙げられます。

- (1) 海外からの投資が少ないこと
- (2) 過去からの内部留保が少なかったため、配当性向を低めにせざるを得なかったこと
- (3) 当社グループの主力事業領域である伸銅事業、精密部品事業及び配管・鍍金事業は、国内市場の需要が低迷しており、市場の成長性に不透明感があること

## 2. 改善に向けた方針・計画

- (1) 2025年4月より決算情報などの英文開示を実施することで、海外投資家にも、投資判断に必要な情報を適切なタイミングで提供しております。
- (2) 設備投資やM&Aに備えて内部留保の蓄積に努めると同時に、利益を増やして配当金を増額できるよう努力します。
- (3) 2025年4月1日付で、三谷伸銅株式会社を子会社化し、双方が培ってきた生産技術・ノウハウを相互に活用することで生産性を向上させ、また、原料及び副資材を共同購買することによって原価を低減させることで、伸銅事業の収益力を強化します。
- (4) 資本効率の向上と経営環境の変化に対応した機動的な資本戦略の一環として、2025年5月13日付で、自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、自己株式20万株を取得しました。

以上